

学校だより

熱 沙

＜発行＞
 令和5年2月9日
 発行責任者：校長
 和田 政男

DJSの先輩、陶山絵梨華さんピアノコンサート

2年前に本校を卒業し、現在東京音楽大学付属高校ピアノ演奏家コース2年生の陶山絵梨華さんが、ドバイに来た機会に後輩のためにピアノコンサートを開いてくださいました。2月9日、全校音楽として設定した1時間を使い、調の違いや音楽の力、ピアノとの出会いと自身の夢などのお話を交えて、各種コンクールやコンペティションで磨いたピアノ演奏を披露しました。全校児童・生徒は、身近な先輩が大きく成長して素晴らしいピアノ曲を披露してくれたことに大いに刺激を受けたようでした。有難い時間となりました。

学校評価アンケート自由記述のまとめ その5

＜その他・全般＞

- 時間的な制約があり難しいこともあるかもしれませんが、もっと子どもたちの可能性を信じて任せてあげてもいいのではないかと思います。子どもたちはもっと自分達で考えて作り上げて行きたいと思っていることもあるようです。
- 日本人学校に入学し1年半が経ちましたが以前より意欲的に何事にも取り組めるようになったと思います。ありがとうございます
- 小規模だからこそその温かみがある学校作りをされていると思います。いつも熱心で愛情ある授業をしてくださり、ありがとうございます。
- 授業以外の行事にも力を入れていただき感謝です。
- 授業参観や、子供が体調不良のため授業をオンラインで参加させて頂き、その時に拝見させて頂きましたが、一人一人を尊重した素晴らしい授業でした。
- 先生がとても親身になって接していただいております。子ども達の状況に配慮して、宿題の多さを調整していただいております。大変助かっております。先生の子供達に対する愛情をととても感じています。
- 先生は細かく見てくださっているな、と思います。いつも楽しく通うことができているのは、お友達だけでなく先生のおかげでもあります。ありがとうございます。
- 子供は担任の先生、日本人学校が大好きです。子供達に教えるべき事をちゃんと指導していると思う。安心してお任せ出来て感謝しております。
- 子どものありのままの様子を知らせていただければ幸いです。
- 先生は児童一人一人の良さを理解して、その良さをしっかり褒めていただきます。子どもは先生に褒めていただくことで、さらに頑張ろうと意欲的になっています。
- 授業参観では子供達は落ち着いて協力合って授業を受けていたと思います。

↓ ピアノコンサートの一場面



- 海外生活で、まずは生活を立ち上げることに先生方もご苦労されると思いますが、新学期前には引き継ぎを十分にさせていただきたい。新任の先生方がスムーズに仕事ができるよう情報共有も風通し良くしていただきたい。
- 各先生方と交流がないと問題点が見えにくいと思います。
- また、学校では子どもだけではなく保護者にも声をかけてくださって、ありがたく思っています。たくさんの先生と深く関わることができ、本当にありがたい環境だと思っています。本人の否定的な意見は思春期からくるものとして家庭で聞きますが、本人が授業中に悪い態度をとっていないかが心配する所です。

→ **たくさんの元気が出るお言葉をいただき、職員一同、たくさんのエネルギーをいただいた気持ちでおります。**

日本人学校の宿命ですが、派遣教員は2～4年と短いサイクルで代わります。ドバイの制度自体も予告なく急に変わることもあります。在外教育施設という制約もあります。「日本とは違うな」「昨年と違うな」ということも多々あるでしょう。マイナスの要因も含めて、何事も経験であり、その中で育つ部分もあります。教員の人格も様々で、その様々な人格に触れあって児童・生徒は成長します。

「艱難汝を玉にす」という諺もあります。もちろん学校は100%整った環境の中で教育することを目指しますが、なかなかそのようにはなっていない現実もあります。いただいたご意見を職員一同で共有し、課題を引継ぎ、更なる高みを目指して参りたいと思います。

(おわり)

学校だより

熱

沙

<発行>
令和5年2月9日
発行責任者：校長
和田 政男